

水戸芸術館現代美術ギャラリー再開のお知らせ

水戸芸術館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月31日(日)まで臨時休館していましたが、6月2日(火)より施設を段階的に再開しています。この度、6月19日(金)より現代美術ギャラリーの一部を再開し、下記展覧会を開催することになりました。つきましては、貴社媒体でご案内くださいますようお願い申し上げます。

なお、お客様にご来館いただくにあたり、感染症対策として「お客様へのお願い」と「当館の取り組み」を館内に掲示するほか、ホームページ等でご案内していますので、ご参照ください。

【再開にあたって開催する展覧会】

●「ひかりといのちのある風景—現代美術センター所管作品から」

会期：6月19日(金)～7月31日(金) ※月曜休館

開場時間：10時～17時(入場は16時半まで)※開場時間を短縮します

入場料：無料 ※混雑時は入場制限する場合がございます

出品作家：上田薫、河口龍夫、クリストとジャンヌ＝クロード、小林孝亘、杉山知子、曾谷朝絵、長澤英俊、野村仁、畠山直哉、日高理恵子、ロバート・メイプルソープ

光、水、空気、大地、そしてそこに生きる動植物たち。私たちが普段目にとめることのなかった風景には、さまざまな現象や生命の活動が満ちあふれています。本展では、当館所管作品から、アーティストたちが観察者としてとらえた光と生命のある風景を、絵画、彫刻、写真、インスタレーションなどの作品を通じて紹介します。

●水戸芸術館開館30周年記念事業「森英恵 世界にはばたく蝶」ドキュメンテーション展

※同時開催

日本ファッション界の先駆者であり、世界的なファッションデザイナーとして活躍してきた森英恵。当館では、その半生をたどる展覧会「森英恵 世界にはばたく蝶」を開催しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、会期中途4月2日で終了となりました。本展の会場風景の記録を展示します。

【オンライン企画】

■おうち・こらぼ・らぼ

家でもアートにふれて楽しめるコンテンツを当館ホームページにて紹介しています。アーティストと一緒に考えたぬり絵や工作、ストレッチ映像を配信中です。また、当館で過去に実施したアーティストのワークショップを、自宅でも体験できるワークショップキットとして開発。ミュージアム・ショップで販売中のほか、当館ホームページからもご案内予定です。

上記の情報は、6月12日現在のものです。今後の状況により、施設利用に変更が生じる場合は、随時ホームページ等でご案内します。

【お問合せ】※取材ご希望の方は鳥居までご連絡ください。

■企画について：竹久 侑、井関 悠（水戸芸術館現代美術センター）

■広報・写真貸出について：鳥居 email: cacpr@arttowermito.or.jp

■水戸芸術館現代美術センター：〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

Tel.029-227-8120 Fax.029-227-8130 (10:00～18:00)

<https://www.arttowermito.or.jp/>

【図 版】 展覧会広報用にデータを貸し出しますので、ご希望の方は鳥居までお問合せください。

1



2



3



4



5



6



1. クリスト《アンブレラ、日本とアメリカ合衆国のジョイント・プロジェクト》1987 撮影：加藤健
2. クリスト《アンブレラ、日本とアメリカ合衆国のジョイント・プロジェクト》1988 撮影：加藤健
3. 日高理恵子《樹を見上げてVI》1992
4. 曾谷朝絵《Circles》2008
5. 長澤英俊《花々のくに》1985
6. 野村仁《正午のアナレンマ '90》1990